

## 第6回ワールドフード+ふれ愛フェスタに参加して

西尾張分区ガバナー補佐  
和田 典之



秋晴れの素晴らしい2日間をプレゼントしてくれたあの日の空に感謝し、綿密な計画と、最適な決断で実行して頂きました第6回のWFF実行委員会の皆様のご尽力に敬意を表し、多くの温かいご寄付を提供頂きましたスポンサーの皆様、そして、チケットをご購入頂き、会場に足を運んでいただきましたロータリアンの皆様、また、2日間、早朝より、ご準備頂き、終了までご支援いただきました各委員会の皆様、そして、遠くから応援に駆けつけてくださいました海外の陽気なロータリアンの皆様など、いろいろな方々のご支援とご協力を頂き、第6回のWFFが開催できたことは本当に素晴らしいことだと、改めて思いました。

今年、初めて西尾張分区のブースを担当させていただき、このイベントの大変さと、ご関係の皆様のご苦勞が少しだけ分かったような気になりました。

今年、初めて西尾張分区のブースを担当させていただき、このイベントの大変さと、ご関係の皆様のご苦勞が少しだけ分かったような気になりました。

「百聞、百見、百考は一行に如かず」

これは「いくら聞いたり、見たり、考えても行動してみなければ本質は分らない」という意味の造諺です。このイベントは世界の食べ物が食べられ、世界のステージが楽しめ、世界の人たちと交流できる、楽しく、そして、意味のある素晴らしいイベントですので、無理のない方法で継続できるようにしなければならないと思います。来年はこの場所では開催できないそうですが、今まで以上に多くのお客様が来てくれ、楽しめる場所が見つかることを期待しています。

最後に、私共の販売品が名古屋名物、「ひつまぶし」であったため、単価設定が高く、一般のお客様よりはロータリアンの皆様が応援で買っていただいたこ



とがよい結果に結びついたと思っています。改めてお越しいただきました皆様に感謝申し上げます。

また、レスポンスよく温かい『ひつまぶし』を作って、運んでくれた皆様に心よりお礼申し上げます。

